

「令和3年度」

公開財務情報

- ①財産目録
- ②貸借対照表
- ③資金収支計算書
- ④活動区分資金収支計算書
- ⑤事業活動収支計算書
- ⑥事業報告書
- ⑦監査報告書

① 財産目録

(令和4年3月31日現在)

(単位：千円)

I. 資産総額	10,291,092千円
内 基本財産	6,466,171千円
運用財産	3,824,921千円
収益事業用財産	0千円
II. 負債総額	629,900千円
III. 正味財産	9,661,192千円

区分	金額
資産額	
1. 基本財産	
土地	33,786 m ² 995,960千円
建物	24,806 m ² 4,641,233千円
図書	24,745 冊 29,787千円
教具・校具・備品	8,069 点 536,876千円
その他	262,315千円
2. 運用財産	
現金預金	1,929,270千円
その他	1,895,651千円
3. 収益事業用財産	0千円
I. 資産総額	10,291,092千円
負債額	
1. 固定負債	
その他	340,786千円
2. 流動負債	
その他	289,114千円
II. 負債総額	629,900千円
III. 正味財産 (資産総額-負債総額)	9,661,192千円

② 貸借対照表

(令和4年3月31日)

(単位：千円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	8,331,920	8,006,877	325,043
有形固定資産	6,466,170	6,679,158	△ 212,988
土地	995,960	989,426	6,534
建物	4,641,233	4,822,527	△ 181,294
その他の有形固定資産	828,977	867,205	△ 38,228
特定資産	640,783	298,137	342,646
その他の固定資産	1,224,967	1,029,582	195,385
流動資産	1,959,172	2,410,127	△ 450,955
現金預金	1,929,270	2,373,670	△ 444,400
その他の流動資産	29,902	36,457	△ 6,555
資産の部合計	10,291,092	10,417,004	△ 125,912
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	340,786	298,140	42,646
その他の固定負債	340,786	298,140	42,646
流動負債	289,114	662,221	△ 373,107
その他の流動負債	289,114	662,221	△ 373,107
負債の部合計	629,900	960,361	△ 330,461
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	10,104,857	9,365,065	739,792
第1号基本金	9,671,857	9,232,065	439,792
第2号基本金	300,000	0	300,000
第4号基本金	133,000	133,000	0
繰越収支差額	△ 443,665	91,578	△ 535,243
翌年度繰越収支差額	△ 443,665	91,578	△ 535,243
純資産の部合計	9,661,192	9,456,643	204,549
負債及び純資産の部合計	10,291,092	10,417,004	△ 125,912

* 記載金額は単位未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

③ 資金収支計算書

令和3年4月1日から
令和4年3月31日まで

(単位：千円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	2,352,342	2,352,342	0
手数料収入	35,660	35,639	21
寄付金収入	0	0	0
補助金収入	211,954	211,954	0
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	1,500	1,500	0
受取利息・配当金収入	9,710	9,715	△ 5
雑収入	23,029	23,028	1
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	143,100	142,500	600
その他の収入	561,862	561,598	264
資金収入調整勘定	△ 162,727	△ 162,727	0
前年度繰越支払資金	2,373,670	2,373,670	0
収入の部合計	5,550,100	5,549,220	880
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,341,536	1,340,594	942
教育研究経費支出	519,577	517,369	2,208
管理経費支出	166,250	165,838	412
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	47,584	47,584	0
設備関係支出	98,483	97,994	489
資産運用支出	542,646	542,646	0
その他の支出	957,282	957,703	△ 421
資金支出調整勘定	△ 49,956	△ 49,779	△ 177
翌年度繰越支払資金	1,926,698	1,929,271	△ 2,573
支出の部合計	5,550,100	5,549,220	880

* 記載金額は単位未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

④ 活動区分資金収支計算書

令和3年4月1日から

令和4年3月31日まで

(単位：千円)

		科 目	金 額	
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	2,352,342	
		手数料収入	35,639	
		経常費等補助金収入	211,954	
		付随事業収入	1,500	
		雑収入	23,028	
		教育活動資金収入計	2,624,463	
	支出	人件費支出	1,340,594	
		教育研究経費支出	517,369	
		管理経費支出	165,838	
		教育活動資金支出計	2,023,801	
		差引	600,662	
		調整勘定等	△ 68,877	
		教育活動資金収支差額	531,785	
施設整備等活動による資金収支	科 目		金 額	
	収入	施設整備等活動資金収入計	0	
	支出	施設関係支出	47,584	
		設備関係支出	97,994	
		第2号基本金引当特定資産繰入支出	300,000	
		施設整備等活動資金支出計	445,578	
			差引	△ 445,578
			調整勘定等	△ 303,891
		施設整備等活動資金収支差額	△ 749,469	
		小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 217,684	
その他の活動による資金収支	科 目		金 額	
	収入	受取利息・配当金収入	9,715	
		預り金受入収入	521,754	
		仮払金回収収入	12,332	
		その他の活動資金収入計	543,801	
	支出	有価証券購入支出	200,000	
		退職給与引当特定資産繰入支出	42,646	
		預り金支払支出	513,331	
		仮払金支払支出	14,539	
		その他の活動資金支出計	770,516	
		差引	△ 226,715	
		その他の活動資金収支差額	△ 226,715	
		支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 444,399	
		前年度繰越支払資金	2,373,670	
		翌年度繰越支払資金	1,929,271	

* 記載金額は単位未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

⑤ 事業活動収支計算書

令和3年4月1日から

令和4年3月31日まで

(単位：千円)

		科 目	予 算	決 算	差 異	
教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒納付金	2,352,342	2,352,342	0	
		手数料	35,660	35,639	21	
		寄付金	0	0	0	
		経常費等補助金	211,954	211,954	0	
		付随事業収入	1,500	1,500	0	
		雑収入	23,029	23,028	1	
		教育活動収入計	2,624,485	2,624,463	22	
教育活動支出の部	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		人件費	1,386,536	1,383,240	3,296	
		教育研究経費	869,577	865,199	4,378	
		管理経費	182,250	181,189	1,061	
		教育活動支出計	2,438,363	2,429,628	8,735	
		186,122	194,835	△ 8,713		
教育活動外収支	事業活動外収支	科 目	予 算	決 算	差 異	
		受取利息・配当金	9,710	9,715	△ 5	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	
		教育活動外収入計	9,710	9,715	△ 5	
		借入金利息	0	0	0	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	
		教育活動外支出計	0	0	0	
		9,710	9,715	△ 5		
		経常収支差額	195,832	204,550	△ 8,718	
特別収支	事業活動特別収支	科 目	予 算	決 算	差 異	
		資産売却差額	0	0	0	
		その他の特別収入	0	0	0	
		特別収入計	0	0	0	
		資産処分差額	0	0	0	
		その他の特別支出	0	0	0	
		0	0	0		
		0	0	0		
		基本金組入前当年度収支差額	195,832	204,550	△ 8,718	
		基本金組入額合計	△ 740,000	△ 739,792	△ 208	
		当年度収支差額	△ 544,168	△ 535,242	△ 8,926	
		前年度繰越収支差額	91,578	91,578	0	
		翌年度繰越収支差額	△ 452,590	△ 443,664	△ 8,926	

(参考)

事業活動収入計	2,634,195	2,634,178	17
事業活動支出計	2,438,363	2,429,628	8,735

⑥ 事業報告書

1. 建学の精神

1. 建学の精神

「日本医療科学大学」は、「**報恩感謝**」を校是としています。

人は生まれながらにして、親、家族、社会から様々な恩恵を受けて、生かされています。例えば、今日食卓で口にするもの一つをとっても、見知らぬ多くの人々の手を経て私たちに届くのです。

こうした恩に報い、常に感謝する気持ちを持った有為な人材を育てることこそ、「日本医療科学大学」の崇高な理念であり、この建学の精神を具現した多くの医療人・研究者を輩出させたいと考えています。

2. 基本理念 ; 「愛情」「知性」「行動」

「**愛 情**」: 豊かな人間愛に満ちた人格形成

「**知 性**」: 広範な学術の研究練磨

「**行 動**」: 現代社会への貢献

2. 法人の概要

1. 学校法人の沿革

大正 7年	城西実務学校 設立
昭和 26年	学校法人城西学園へ組織変更
昭和 59年 4月	城西医療技術専門学校（診療放射線学科） 設立
平成 8年 4月	城西医療技術専門学校に理学療法学科 開設
平成 11年 4月	城西医療技術専門学校に作業療法学科 開設
平成 15年 8月	学校法人埼玉城西学園設立 城西医療技術専門学校（3学科）を移管
平成 18年 11月	学校法人城西医療学園に組織変更、日本医療科学大学設立認可
平成 19年 4月	日本医療科学大学 保健医療学部 診療放射線学科・リハビリテーション学科（理学療法学専攻・作業療法学専攻） 開設
平成 21年 3月	城西医療技術専門学校 閉校
平成 24年 4月	日本医療科学大学 看護学科・臨床工学科 開設
平成 31年 4月	診療放射線学科の収容定員を90名へ変更
令和 3年 4月	日本医療科学大学 臨床検査学科 開設

2. 設置する学校・課程・学科・入学定員・学生数の状況（令和4年5月1日現在）

学校名 (所在地)	学部・学科名等	開設 年度	入学 定員	収容 定員	在籍人員	
						女子
日本医療科学大学 (埼玉県入間郡毛呂山町)	保健医療学部	H19	410	1,640	1,631	786
	診療放射線学科	H19	90	360	420	180
	リハビリテーション学科	H19	120	480	491	182
	<理学療法学専攻>	<H19>	<80>	<320>	<347>	<118>
	<作業療法学専攻>	<H19>	<40>	<160>	<144>	<64>
	看護学科	H24	80	320	363	281
	臨床工学科	H24	40	160	182	51
臨床検査学科	R3	80	320	175	92	

3. 役員（令和4年5月1日現在）

9名；理事7名（うち、理事長1名）、監事2名

4. 教職員（令和4年5月1日現在）

学長	副学長	学部長	診療放射線学科	リハビリテーション学科		看護学科	臨床工学科	臨床検査学科	医療・基礎教育科	専任教員計※	事務職員	兼任教員計	総合計
				理学療法学専攻	作業療法学専攻								
1 (0)	0 (0)	1 (0)	11 (3)	12 (2)	9 (2)	26 (24)	9 (1)	11 (6)	9 (2)	87 (40)	60 (30)	151 (38)	298 (108)

※学長、副学長を除く 下段の（ ）は女性

5. 入学試験の概要

年度	診療放射線 学科		リハビリテーション学科				看護学科		臨床工学科		臨床検査学科		合計	
	志願 者数	入学 者数	志願 者数	入学 者数	志願 者数	入学 者数	志願 者数	入学 者数	志願 者数	入学 者数	志願 者数	入学 者数	志願 者数	入学 者数
2022 年度	555 (216)	108 (45)	220 (78)	86 (32)	93 (50)	26 (17)	228 (166)	95 (70)	180 (62)	50 (12)	338 (175)	87 (47)	1614 (747)	452 (223)
2021 年度	613 (234)	110 (48)	279 (96)	91 (35)	120 (47)	30 (13)	255 (172)	86 (61)	281 (85)	42 (8)	387 (190)	92 (47)	1935 (824)	451 (212)
2020 年度	605 (214)	103 (50)	386 (114)	91 (36)	172 (58)	44 (9)	284 (202)	92 (77)	271 (90)	44 (16)			1,718 (678)	374 (188)
2019 年度	587 (219)	95 (38)	331 (102)	92 (27)	169 (66)	45 (20)	332 (227)	91 (72)	288 (107)	53 (19)			1,707 (721)	376 (176)
2018 年度	549 (217)	84 (39)	258 (88)	82 (20)	115 (63)	37 (17)	273 (201)	86 (67)	266 (97)	49 (14)			1,461 (666)	338 (157)
2017 年度	532 (197)	99 (47)	309 (87)	87 (27)	147 (70)	43 (21)	375 (289)	93 (78)	223 (75)	51 (13)			1,586 (718)	373 (186)

下段の（ ）は女子学生

6. 令和3年度 卒業・就職等の状況（令和4年5月1日現在）

	4年次 在籍 者数	卒業 生数	留年 者数	退学 者数	休学 者数	進学 者数	国家試験 合格者数	合格率 (%) <※>	平均合格率 新卒平均 (%)	合格者 就職者数	本学既卒 合格者数 [累計]
診療放射線 学科	82 (43)	67 (34)	12 (7)	3 (2)	0 (0)	0 (0)	65 (33)	97.0 (97.1)	86.1 93.6	62 (31)	1 [67]
リハビリテーション 学科	115 (32)	85 (24)	22 (6)	6 (0)	2 (0)	0 (0)	69 (18)	74.2 (73.4)		68 (19)	3 [106]
理学療法学 専攻	73 (14)	57 (13)	8 (1)	6 (0)	2 (0)	0 (0)	54 (12)	94.7 (92.3)	79.6 88.1	53 (13)	2 [58]
作業療法学 専攻	42 (18)	28 (11)	14 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	15 (6)	53.6 (54.5)	80.5 88.7	15 (6)	1 [48]
看護学科	78 (63)	76 (61)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	76 (61)	100 <100> (100)	91.3 96.5	76 (61)	5 [22]
臨床工学科	39 (12)	34 (11)	2 (0)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	33 (11)	97.1 (100)	80.5 88.1	32 (11)	0 [9]

下段の（ ）は女子学生。<※>看護学科合格率（上段；看護師、中段；保健師）

3. 令和3年度 事業の概要

1 教学部門強化に向けた取り組み

- (1) 令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大が依然として終息の兆しの見えない中スタートした。そのような中でも本学は国家試験について、大学として十分な感染対策を敷き、学生を始め教職員に至るまで安全を確保しながら、対面での授業の機会を増やし、早い段階から国家試験対策教材を使用した補講や模擬テストの実施、成績不振者に対する個別指導、夏季・春季等の長期休暇を含め休日における補講と自習、既卒生に対する特別クラスの編成、通常の補習授業など手厚い指導を継続して行ってきた。

その結果、看護学科では「看護師」及び「保健師」のダブルで国家試験合格率100%を達成したほか、診療放射線学科、理学療法学専攻、臨床工学科では新卒の全国合格率を大きく上回る好成績を残すなど健闘した。作業療法学専攻については全国平均を下回る結果となったが、次年度に向け、専攻教員が一丸となって指導を行っていく。今年度もさらなる飛躍を目指し取り組んでいきたい。

- (2) 令和3年度は残念ながら、総合型選抜入試・推薦入試合格者が対象の入学予定者に対し実施する入学前研修ウォーミングアップセミナー、入学式（後日実施）、新入生全員に対し実施する宿泊研修であるフレッシュマンセミナー、学園祭、スポーツデー、求人説明会など恒例のイベントは昨年度に引き続き、安全性確保の観点から中止となった。オンラインで個別に学生生活ガイダンスを行うなど教員と学生間のコミュニケーションを図るほか、感染が落ち着いた12月21日(火)～12月28日(火)の6日間でスポーツデーに代わるイベントとして、バスケットボールの大会やEスポーツの大会を開催し盛況を博した。

- (3) 授業については、感染症対策を万全に施したうえで前期から対面での授業を積極的に再開した。本学は医療系の大学であることから実習を行う必要もあり、クラスを半分に分け密を避けるなどし、きめの細かい指導を行ったほか、一人暮らしの学生、女子学生、男子学生それぞれを対象に物資の支援を行い、必要なものを提供した。

周期的に変化する新型コロナウイルスの感染状況に臨機応変に対応すべく定期的に対策本部会議を招集し、クラスター発生の絶対回避と学生および教職員の安全確保を基本に当局の指導や通達など正確な情報収集と的確な意思決定も行ってきた。

その中で埼玉県のある大学では2番目の速さとなる7月3日(土)に職域接種を実施し、本学学生の8割以上が接種を受けることができた。そのほか関連校や、業者、近隣大学の方々にも接種を行い、医療系大学として地域や医療機関の負担軽減に寄与することができた。

2 コロナ禍における本学の方針

新規感染者数は全国的に下げ止まらず、若い世代を中心に増加傾向にある中で、感染再拡大の兆候が見られる地域もあり、オミクロン株の BA.2 への置き換わりにも注意が必要である。

本学としては最大限の警戒をしつつ、学生、教職員の安全・安心を確保しながら、可能な限り学生が通常の学生生活を送れるように支援と準備を行っていく。

(1) 基本的な感染対策の徹底

基本的なマスクの着用、手指消毒、換気、3密の回避、教室や、実習室の消毒を徹底。歓迎会や旅行などの外出の機会が増える時期においても感染対策の取られた店舗や手段を選ぶように指導するほか、臨地実習前には不必要な外出や、接触を控えるように指導をおこなう。

(2) 積極的な検査、自己管理

通学前や、来学時に検温を行い常に体調の管理に気を付けるように指導をするとともに、体調に異変があればすぐに担任や事務職員に連絡ができるように備える。そのほか、事前に検査を受けるなど、周りの安全・安心にもつながるように行動を促す。

(3) ワクチン接種の促進

本学の職域接種において3回目までの接種を行う。3回目のワクチン接種により感染防止、重症化を防ぐことにつながり、特に重症化や後遺症のリスクを減らす。すでに新入生に対しての3回目の接種も行った。

3 学生募集

私立大学では、志願者数が前年比 86%となり、前年から 54 万人が減少した。都市部での倍率ダウンが目立った。いずれの系統も前年の志願者を下回ったが、私立大学全体の志願者減少率を基準に見ると、国公立大と同様に「外国語」「国語」分野等で減少率が高くなった一方、資格に関連の深い「社会福祉」「獣医」や医療系の各分野、工学系の「通信・情報」、国際系の「情報」分野で減少率は小幅にとどまった。(河合塾)

少子化、大学全入時代が当たり前となっているが、2022 年はその結果がより顕著に出始めたといえるのではないだろうか。

どの大学もさまざまな受験方法を実施する中、全体受験者数が減少したこともあり、総合型選抜や推薦入試で早期に決定を行う流れはもちろん、一般入試においても早期の第一志望でチャレンジ校に挑戦し入学ができる状況が見られた。

そのことから以前は第二志望、第三志望を狙って一般入試を遅めに設定していた大学の思惑が外れ、第二志望以下の一般入試受験者数が減少した。

そのような中でも本学は、令和3年度は全学科で1,935名の志願者を獲得し452名の新生を迎えることができた。学科ごとの内訳としては、診療放射線学科108名(定員90名)、リハビリテーション学科理学療法学専攻86名(定員80名)、作業療法学専攻26名(定員40名)、看護学科は95名(定員80名)、臨床工学科は50名(定員40名)、臨床検査学科は87名(定員80名)と多くの新生を迎えることができた。全体では収容定員は満たしているものの、新選抜方式の影響も考慮の上、次年度の募集活動を推進したい。

4 就職支援の充実

文部科学省と厚生労働省の発表によると、令和3年度の全国の大学生の就職内定率は89.7%（前年同期比0.4ポイント上昇）となった。

当局は、コロナ禍突入前の就職活動状況は、好景気を背景に企業の採用意欲が高かったと分析していた。コロナ禍突入後内定取り消しなどが増えている状況について、企業側に新卒者の雇用に配慮するよう経済界に引き続き求めていく模様。

本学の学生にとっても新型コロナウイルス感染拡大の影響で内定取り消しが発生するなど、必ずしも学生にとって楽観視できる状況にない。また「就活ZERO宣言」が確実に定着し、学生が国家試験に対して周到に準備出来る学習環境を確保し、円滑な就職活動を可能にする体制構築に推進した結果、対象学生については概ね就職が内定した。

具体的な施策は以下の通り。

- (1) 学生が就活最前線に挑む前段階で、将来より良い医療従事者となるための心構えや面接時の留意点などについて、外部講師招聘による解説、加えて模擬面接も行う就職セミナーを実施した。(3月25日、3月26日)
- (2) 就職支援センターに常駐の職員を配置し、求人票の閲覧や就職相談や履歴書の書き方の相談等も日常的に行った。更には全国の医療施設に対する個別の訪問を行う職員及び八口一ワークからの派遣職員を置き、情報の円滑な開示を行った。
- (3) 令和3年度の求人数は以下の通りであった。

診療放射線学科	求人施設数	631 施設	求人数	1,227 人
理学療法学専攻	〃	1,239 施設	〃	4,235 人
作業療法学専攻	〃	1,259 施設	〃	3,544 人
看護学科	〃	620 施設	〃	11,180 人
臨床工学科	〃	423 施設	〃	608 人

(4) 主な就職先は以下のとおりである。

① 診療放射線学科 (58 施設)

岩手県	岩手医科大学附属病院	千葉県	東邦大学医療センター佐倉病院
宮城県	仙台徳洲会病院	千葉県	千葉西総合病院
福島県	松村総合病院	千葉県	行徳総合病院
茨城県	石岡循環器科脳神経外科病院	東京都	イムス東京葛飾総合病院
群馬県	イムス太田中央総合病院	東京都	公立福生病院
埼玉県	埼玉医科大学病院	東京都	東京都立神経病院
埼玉県	越谷市立病院	東京都	練馬総合病院
埼玉県	埼玉石心会病院	東京都	昭和大学病院
埼玉県	旭ヶ丘病院	東京都	東京慈恵会医科大学附属病院
埼玉県	戸田中央総合病院	東京都	日本大学医学部附属板橋病院
埼玉県	上尾中央総合病院	東京都	日本医科大学付属病院
埼玉県	埼玉医科大学国際医療センター	東京都	東京女子医科大学病院
埼玉県	かわぐち心臓呼吸器病院	東京都	佐々総合病院
埼玉県	赤心堂病院	東京都	東京都立墨東病院
埼玉県	明海大学歯学部付属明海大学病院	東京都	東京都立大塚病院
埼玉県	新座志木中央総合病院	東京都	東京都立病院
埼玉県	埼玉医科大学国際医療センター	東京都	西東京中央総合病院
埼玉県	新座志木中央総合病院	東京都	明理会中央総合病院
埼玉県	イムス三芳総合病院	東京都	東京北医療センター
埼玉県	埼玉メディカルセンター	東京都	赤羽中央総合病院
千葉県	亀田メディカルセンター	東京都	東京白十字病院
千葉県	千葉県済生会習志野病院	東京都	杏林大学医学部付属病院
東京都	三楽病院	神奈川県	聖マリアンナ医科大学病院
東京都	松井病院	山梨県	峡南医療センター
東京都	赤羽中央総合病院	山梨県	山梨厚生病院
東京都	明理会中央総合病院	山梨県	笛吹中央病院
東京都	東京都立小児総合医療センター	長野県	南長野医療センター篠ノ井総合病院
東京都	多摩南部地域病院 (保健医療公社)	長野県	長野市民病院
神奈川県	日本医科大学武蔵小杉病院	長野県	信州大学医学部附属病院

②リハビリテーション学科 理学療法学専攻（48 施設）

都道府県	内定先	都道府県	内定先
栃木県	那須脳神経外科病院	埼玉県	介護老人保健施設 さくらの里
群馬県	昭和病院	埼玉県	三郷中央総合病院
群馬県	群馬リハビリテーション病院	埼玉県	桃泉園 北本病院
群馬県	善衆会病院	埼玉県	圏央所沢病院
群馬県	剣持整形外科	埼玉県	霞ヶ関南病院
群馬県	整形外科むらぞえクリニック	埼玉県	介護老人保健施設 葵の園・大宮
埼玉県	埼玉石心会病院	千葉県	長谷川病院
埼玉県	所沢リハビリテーション病院	東京都	帝京大学医学部附属病院
埼玉県	上尾中央総合病院	東京都	初台リハビリテーション病院
埼玉県	TMG 宗岡中央病院	東京都	東京品川病院
埼玉県	三郷中央総合病院	東京都	品川リハビリテーション病院
埼玉県	武蔵台病院	東京都	あさひ病院(精神科)
埼玉県	根本外科整形外科	東京都	九段坂病院
埼玉県	リハビリテーション天草病院	東京都	竹川病院
埼玉県	三井病院	東京都	原宿リハビリテーション病院
埼玉県	飯能靖和病院	東京都	松井病院
埼玉県	原田病院	東京都	松崎整形外科医院
埼玉県	羽生総合病院	東京都	ユウ整形外科
埼玉県	介護老人保健施設 平成の森	東京都	練馬駅リハビリテーション病院
埼玉県	圏央所沢病院	東京都	東京西徳洲会病院
埼玉県	鳳永病院	東京都	株式会社ゴルディオックス
埼玉県	FEEL 株式会社	東京都	五反田リハビリテーション病院
埼玉県	所沢第一病院	神奈川県	湘南みらい整形外科
埼玉県	富家病院	長野県	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター

③リハビリテーション学科 作業療法学専攻（13 施設）

都道府県	内定先	都道府県	内定先
群馬県	つつじメンタルホスピタル	埼玉県	大宮中央総合病院
埼玉県	彩北病院	埼玉県	平成の森・川島病院
埼玉県	狭山中央病院	埼玉県	さいたま市総合療育センターひまわり学園
埼玉県	川口市立医療センター	東京都	慈誠会徳丸リハビリテーション病院
埼玉県	熊谷総合病院	東京都	竹川病院
埼玉県	介護老人保健施設はなぶさ	長野県	長野松代総合病院
埼玉県	丸木記念福祉メディカルセンター		

④看護学科（57 施設）

都道府県	内定先	都道府県	内定先
茨城県	筑波大学附属病院	埼玉県	行田総合病院
栃木県	獨協医科大学病院	埼玉県	圏央所沢病院
群馬県	原町赤十字病院	埼玉県	埼玉協同病院
群馬県	前橋赤十字病院	埼玉県	若葉病院
群馬県	北毛病院（奨学金）	埼玉県	指扇病院
埼玉県	獨協医科大学埼玉医療センター	埼玉県	埼玉成恵会病院
埼玉県	埼玉医科大学病院	埼玉県	埼玉石心会病院
埼玉県	北里大学メディカルセンター	千葉県	日本医科大学千葉北総病院
埼玉県	八潮中央総合病院	東京都	東京西徳洲会病院
埼玉県	上尾中央第二病院	東京都	陽和病院
埼玉県	上尾中央総合病院	東京都	三恵病院
埼玉県	彩の国大宮メディカルセンター	東京都	立正佼成会附属佼成病院
埼玉県	新座病院	東京都	日本医科大学付属病院
埼玉県	新座志木中央総合病院	東京都	日本大学医学部附属板橋病院
埼玉県	戸田中央総合病院	東京都	順天堂大学医学部附属練馬病院
埼玉県	TMG あさか医療センター	東京都	東京女子医科大学病院
埼玉県	イムス三芳総合病院	東京都	立川病院
埼玉県	新久喜総合病院	東京都	豊島病院
埼玉県	小川赤十字病院	東京都	荏原病院（保健医療公社）
埼玉県	さいたま赤十字病院	東京都	多摩北部医療センター（保健医療公社）
埼玉県	春日部市（保健師）	東京都	東京都健康長寿医療センター
埼玉県	埼玉県職員（保健師）	東京都	明理会中央総合病院
埼玉県	吉川市（保健師）	東京都	東京北医療センター
埼玉県	さいたま市立病院	神奈川県	日本医科大学武蔵小杉病院
埼玉県	朝霞市（保健師）	神奈川県	川崎市病院局
埼玉県	埼玉病院（国立病院機構）	山梨県	加納岩総合病院
埼玉県	東埼玉病院（国立病院機構）	長野県	長野県立こども病院（長野県立病院機構）
埼玉県	埼玉県立がんセンター（埼玉県立病院機構）	長野県	長野市民病院
埼玉県	埼玉県立精神医療センター（埼玉県立病院機構）		

⑤臨床工学科（29 施設）

都道府県	内定先	都道府県	内定先
福島県	会津中央病院	埼玉県	志木駅前クリニック
茨城県	JA とりで総合医療センター	埼玉県	蓮田一心会病院
栃木県	とちぎメディカルセンター	埼玉県	戸田中央総合病院
群馬県	古作クリニック	埼玉県	小林内科医院
群馬県	北関東循環器病院	埼玉県	新座志木中央総合病院
埼玉県	埼玉県済生会栗橋病院	千葉県	国際医療福祉大学成田病院
埼玉県	戸田中央総合病院	千葉県	東葉クリニック
埼玉県	蓮田病院	東京都	板橋中央総合病院
埼玉県	羽生総合病院	東京都	高島平中央総合病院
埼玉県	秀和総合病院	東京都	西八王子腎クリニック
埼玉県	新久喜総合病院	東京都	福生駅前クリニック
埼玉県	春日部嬉泉病院	神奈川県	善仁会（配属先未定）
埼玉県	自衛隊埼玉地方協力本部	神奈川県	戸塚共立ステーションクリニック
埼玉県	慶和病院	静岡県	静岡厚生病院
埼玉県	武蔵台病院		

5 学生支援の継続

毎年、本学の学生主体の学事として、大樹祭（学園祭）、スポーツデー、坂戸よさこい等の大きなイベント、各種ボランティア等の比較的小規模なイベント、地域連携に関するものから学生の将来に役立つものまで様々なイベントを定着させてきたが、令和3年度はすべて中止を余儀なくされた。こういった本業以外の活動にも積極的に参加し楽しみにしている本学の学生の心中を察すると複雑な想いである。

令和4年度はこのような状況が少しでも好転することを期待する一方で、新しい学事・イベントの在り方も模索する。

6 施設・設備の拡充及び補修

学生満足度向上のために開学以来、計画的に教育施設の拡充を実行している。

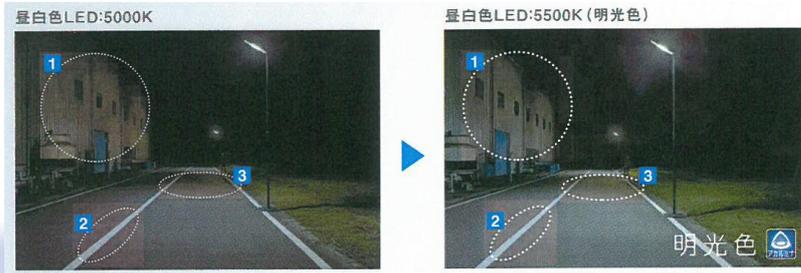
本年度はMM教室のパソコンを40台増設、3号棟、4号棟の照明機器をLED電球へ交換、通学路の防犯灯設置、学外案内看板の設置、証明書発行機の導入、基礎科学実験準備室の改修等を行った。

◇ MM教室 ◇



◇ LED電球へ交換した教室 ◇

◇ 通学路の防犯灯 ◇



夕方には暗くなり危険なため本学から駅までの通学路にある防犯灯 13 機を LED に付け替えた。

◇ 学外案内看板 ◇



校舎も増えたため、来客にもわかりやすいように本部棟近くの十字路に看板を設置した。

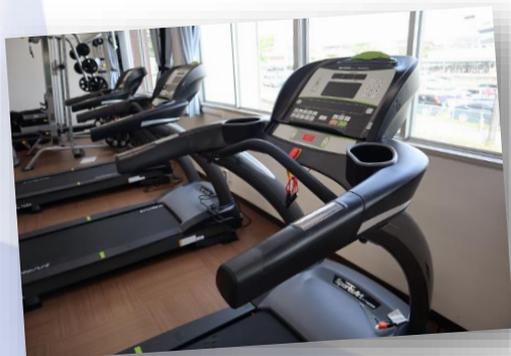
◇ 証明書発行機 ◇



学生課窓口で対応していた証明書を機械で発行することにより、窓口の混雑、待ち時間を緩和することができるようになった。



◇ 基礎科学実験準備室の改修 ◇



学生からの要望も多いスポーツ理学療法士にも対応するための機器を導入。
運動学実習を学んでいる。



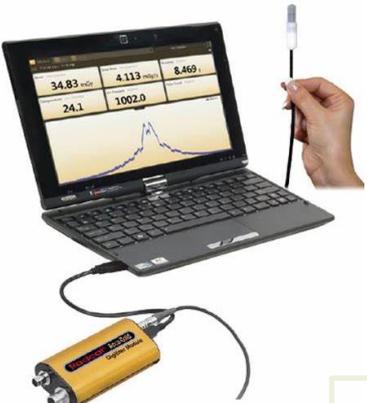
◇ Wi-Fi の増設 ◇



2号棟・3号棟・4号棟 各教室に
合計で44個のアクセスポイントを
設置した。

(5) 教育研究備品の購入

診療放射線学科



コンパクト X 線アナライザー

手のひらサイズの ACCU-GOLD デジタイザを PC に USB 接続し、用途に合わせたセンサーと組み合わせることで、線量・管電圧・管電流などを 1 台で測定できることが特長

ポケットサーベイメーター

環境放射線レベルの測定ができる高感度タイプなので、線量の低い場所でもいつもと比べ異常がないかチェックするのに最適



理学療法学専攻

超音波治療器 (フィジオソノ)



1 つの超音波プローブで、浅部モード(3Mhz)、深部モード(1Mhz)、さらに全体を広範囲でカバーできるオルタネートモード発信(1&3Mhz)も可能
カラータッチパネルのシンプルな操作、バッテリー搭載で持ち運びもでき、様々な場所で使用できるコストパフォーマンスに優れた超音波治療器です



義手一式

新生児蘇生モデルアドバンス



胸部にて心音、呼吸音の聴診、口元から泣き声を聞くことができ、心音、呼吸音、泣き声はタブレットで簡単に操作ができる仕様となっています



アプリ画面 (操作画面)

心音、呼吸音、泣き声はタブレットPCで簡単に操作できます。
※タブレットPCの仕様が予告なしに変更になることがあります。



モニターモード

タブレットPCは模擬モニターとして心拍数とSpO₂を表示することができます。
※心電図は静止画です。



聴診



バックバルブマスク



心拍の拍動 (嚙帯)



気管挿管



片肺挿管



胸骨圧迫

周産期全身実習モデル



妊娠期・分娩期・産褥期のケアが可能
腹部の実習セットの入れ替えにより実習項目を変えることができます



ネーザルハイフロー



ブレンダー
酸素流量計



鼻カニューラ



酸素配管
空気配管

加温加湿器



出典：呼吸療法認定士の攻略サイト

低酸素の患者様に適応する呼吸器で、具体的には COPD の急性増悪、肺炎、気管支喘息、ARDS、挿管の抜管後、気管支鏡実施中、急性心不全といった場面で使用する機器。

骨格モデル (5 体)



顕微鏡画像投影用モニター (75 型)



7 教育改革に係る予算及び実績

(1) 学長特別研究費 実績

令和3年度の学長特別研究費で実施した研究は下記項目。

2021（令和3）年度 学長特別研究費新規採択

※（ ）内は研究期間

	研究者	研究テーマ	予算額	実績
1	作業療法学専攻 小林 毅 教授（2021）	乳がんサバイバーの精神的健康における構造モデル構築	¥1,605,000	¥1,031,853
2	看護学科 古村 ゆかり 准教授（2021-22）	病院における障害者雇用の実態および身体障害を持つ医療職の就労継続のための合理的配慮の方法の認識と実施状況についての調査研究	¥2,000,000	¥489,837
3	看護学科 高野 直美 講師（2021-22）	新型コロナウイルス感染症による大学生の生活の影響と健康教育の効果	¥2,310,310	¥180,239
4	看護学科 奥山 陽子 講師（2021）	COVID-19 感染禍でのオンライン国際交流による看護技術と看護観の共有について	¥870,642	¥0
5	看護学科 五十嵐 貴大 助教（2021）	コロナ禍に伴う学内実習における医療系学生の現実感と職業選択不安の関連性の検討	¥1,167,560	¥475,545
		小計	¥7,953,512	¥2,177,474

2021（令和3）年度 学長特別研究費継続研究課題

	研究者	研究テーマ	予算額	実績
1	作業療法学専攻 西田 典史 教授（2020-21）	大学生のスマートフォン活用と学習課題遂行モデルの構築に関する研究	¥715,370	¥11,607
2	看護学科 平田 礼子 教授（2020-21）	医療系大学生に対する性の健康に向けた支援－性に関する実態と電子媒体を用いた性の健康相談から－	¥485,940	¥37,754
3	医療・基礎教育科 小川 由香里 准教授（2019-21）	放射線による老化と抗酸化物質の役割	¥964,250	¥241,330
4	作業療法学専攻 荻山 泰地 准教授（2019-21）	移動（歩行・車いす操作）時における視線移動パターン、眼球運動に関する研究	¥92,590	¥0
		小計	¥2,258,150	¥290,691
		合計	¥10,211,662	¥2,468,165

令和4年度の学長特別研究費新規採択研究は下記項目。

2022（令和4）年度 学長特別研究費新規採択

	研究者	研究テーマ	予算額
1	臨床工学科 中尾 教伸 教授 (2022-24)	透析患者における血圧関連合併症の発症要因に関する疫学的研究	¥1,980,000
2	作業療法学専攻 西田 典史 教授 (2022-23)	ケアランボリンの跳躍動作における筋電図研究	¥2,707,000
3	作業療法学専攻 小林 毅 教授 (2022-23)	乳がん当事者の QOL における経時的要因および予測可能性の検討	¥2,567,000
4	看護学科 川込 あゆみ 講師 (2022-23)	地域交流の種類と認知症の人への理解や尊厳の相違の関連；日本老年学的評価研究（JAGES2019）による横断研究と M 町の地域交流における認知症の社会的包摂に関わる質的研究	¥647,390
5	医療・基礎教育科 白戸 亮吉 助教 (2022-23)	予防医療のための正確な情報の取得・評価および健康・予防行動を促す効果的な情報提供方法の検討	¥1,200,000
		合計	¥9,101,390

(2) 科学研究費助成事業（科研費）実績

令和3年度の科研費で実施した研究は下記項目。

2021（令和3）年度科研費新規採択

	研究者	代表/分担	研究種目	令和3年度交付決定額
1	臨床検査学科 山口 航 准教授 (2021-24)	代表者	基盤研究 C	¥1,300,000
2	臨床検査学科 菅原 佳奈子 助教 (2021-23)	代表者	基盤研究 C	¥1,820,000
3	臨床検査学科 渡邊 晃広 准教授 (2021-24)	分担者	基盤研究 B	¥208,000
4	看護学科 蒔苗 奈都代 講師 (2021-23)	分担者	基盤研究 C	¥26,000
5	看護学科 小山田 路子 講師 (2021-22)	分担者	挑戦的研究（萌芽）	¥130,000

令和4年度の科研費新規採択研究は下記項目。

2022（令和4）年度科研費新規採択

	研究者	代表者	研究種目	令和4年度交付申請額
1	看護学科 小山田 路子 講師（2022-24）	代表者	基盤研究C	¥2,730,000
2	理学療法学専攻 山口 和人 助教（2022-24）	代表者	若手研究	¥2,990,000

8 広報活動の推進

(1) オープンキャンパスについては、新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインでの実施と対面型は完全予約制にし、11回の合計で1,195名の参加者があった。また、令和4年1月8日(土)に入試直前相談会を実施し出願に繋げることができた。また、従来の高校へのアプローチ推進および各種進学説明会への参加も継続するほか、オンライン個別面談の随時受付をし、直接的なアプローチも継続した。



- (2) 学外での進路相談会や高校での模擬授業、高校生を本学に招致し大学での授業の見学や施設案内なども感染症対策を施して行った。訪問した高校の数は、埼玉県内 301 校、埼玉県を除く関東地区 216 校、東北地区 247 校、その他の地区で 253 校であり、高校主催の進路相談会及び企画会社による進学説明会にはオンラインも含め 214 の会場に参加した。
- (3) 在学生の保護者に対し、学生の様子や大学行事の様子を伝えるための広報活動としてホームページの内容充実に加え、本学の広報誌「大樹の礎」を今年度も継続し発行した。
- (4) 2021 年にはインターネット広告費がマスコミ 4 媒体の広告費（テレビ、ラジオ、新聞、雑誌）を上回った。その中でも SNS の広告の成長が大きく、本学においてもこうした世間の動向を把握し、LINE や YouTube、インスタグラムなどそれぞれの SNS の特長を活かしながら募集活動に尽力してきた。
- (5) 新たな試みとしてタグライン「OPEN MEDICAL ～生きる力を～」を作成した。後段に示すブランドステートメントに基づいて、日本医療科学大学に入学した学生は専門学校時代から続く多くの医療人を輩出してきた実績と手厚いサポートで医療人の育成を行うということを継承し、人間性豊かな医療人として生涯困ることのない資格を有する生きるチカラを育み、医療の世界を切り開くことをコミットメントしたものである。
- 「日本医療科学大学とはどんな大学なのか?」「ほかの医療系の大学とは何が違うのか?」ということを明示し他大学との差別化を図り、ブランドイメージを構築していく。

OPEN MEDICAL 日本医療科学大学
— 生きる力を。 — NIMS NIHON INSTITUTE OF MEDICAL SCIENCE

ブランドステートメント

文系でも、理系でも、どのような科目が得意であろうと、不得意であろうと、大切なのは誰かの役に立ちたい、困っている人を助けたいという心。持てる知識と技術を駆使して誰かのチカラになりたい、人の命を支えたいと思う心。そんな医療の心さえあれば、日本医療科学大学があなたとともに医療の道を切り拓きます。

6 つの医療系学科・専攻を擁するこの場所で、医療の心たちが集い、互いに協力しながら確かな倫理観や豊かな人間性をも育んでいく。社会に出た時に、必要不可欠な人材として生きるチカラを育みます。明日の世界の医療は、ここから始まります。

(6)「坂戸から20分」というコミックエッセイを作成し、6学科・専攻それぞれにキャラクターを作成し医療系の大学の魅力を伝える内容で9月と11月に東武東上線車内広告で実施した。

大学立地の近隣から同心円的に関心層を増加させていくという狙いで実施し、立地をコミカルに紹介したマンガスタイルの広告であると同時に、大学サイトのコンテンツを充実させ、掲載後はトップページに次いで閲覧数が多く、新たな関心層を多く取り込むことができた。



キャラクター紹介

診療放射線学科



ヨサバイ

理学療法学専攻



山越ゆき (双子)

作業療法学専攻



山越まき (双子)

看護学科



今井イツミー

臨床工学科



渋谷菜一郎

臨床検査学科



坂上おっぺ

9 研究部門の充実

研究活動として紀要委員会より「日本医療科学大学研究紀要」第 13 号が発行された。
また、科学研究費補助金の申請は 3 件であった。

10 海外研修制度の充実（サマープログラム 2021）

国際交流研究センターの主導により、本学の教育目標の一つである「国際化社会に対応する医療従事者の養成」を目的とした海外研修（NIMS サマープログラム）も 11 年目を迎えることとなったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため本年度も中止とした。
それに代わり 2021 年度(令和 3 年度)は、ICT を活用しオンラインで国際交流活動を継続する取り組みを進めている。具体的には以下の通り。

ネイティブ英語講師による英語コミュニケーション講座

令和 3 年 6 月 10 日

全学対象で対面式の英語講座を実施した。
学生 22 名が参加し TESOL（英語教授法）の資格を持つ米国出身のネイティブ講師から英会話とボディランゲージを学んだ。



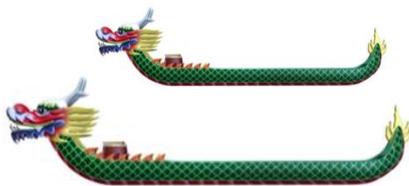


Pink Phoenix メンバーとのオンライン交流会

令和3年10月11日

天野准教授および医療英語履修者（看護学科1年）85名と、米国オレゴン州ポートランドの乳がんサバイバーで結成されたドラゴンボートチーム「Pink Phoenix」のメンバー6名がZoomで交流をした。

乳がんの罹患発覚からPink Phoenixに参加して活動するまでを話していただいた。なお、例年オレゴン研修ではPink Phoenixを訪問し、本学学生がドラゴンボート体験と交流会に参加している。



協定校ドンナイ技術大学（ベトナム）とのオンライン交流会

令和3年11月5日

ドンナイ技術大学看護学科1年生36名と本学看護学科4年生57名がZoomを使用し、それぞれの国での看護学修得について発表し意見交換をした。ベトナムでは夜間にも臨床実習を行うことや、国家試験がないことが分かった。



協定校中台科技大学（台湾）とのオンライン交流会

令和3年11月8日・10日

2日間で延べ17名の中台科技大学学生、36名の台湾高校生、40名の本学学生が参加した。スライドを使った発表の他、実際に特技の剣道や趣味のダンス動画を披露した学生もいた。



特定非営利活動法人 J.J.N Social Contribution との共同事業

令和3年11月3日、12月25日・26日

近隣市町在住の小学生向けに、数日間の集中英語イベントを開催。まずは11月3日に学内関係者をメインに1日のお試しプログラムを実施した。12月25日、26日には2日間のプログラムを実施し、小学生19名が参加して、英語でカードゲームやスポーツを楽しんだ。また最終日の発表会では、参加児童全員が保護者様の前で英語の自己紹介や先生との英会話ゲームを披露した。



11 学位記授与式の実施

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から大々的な集合式典は行わず、令和4年3月10日に川越プリンスホテルにて「3密回避」を心掛けながら、当日参加する教職員も最小限の人員に留め、執り行われた。

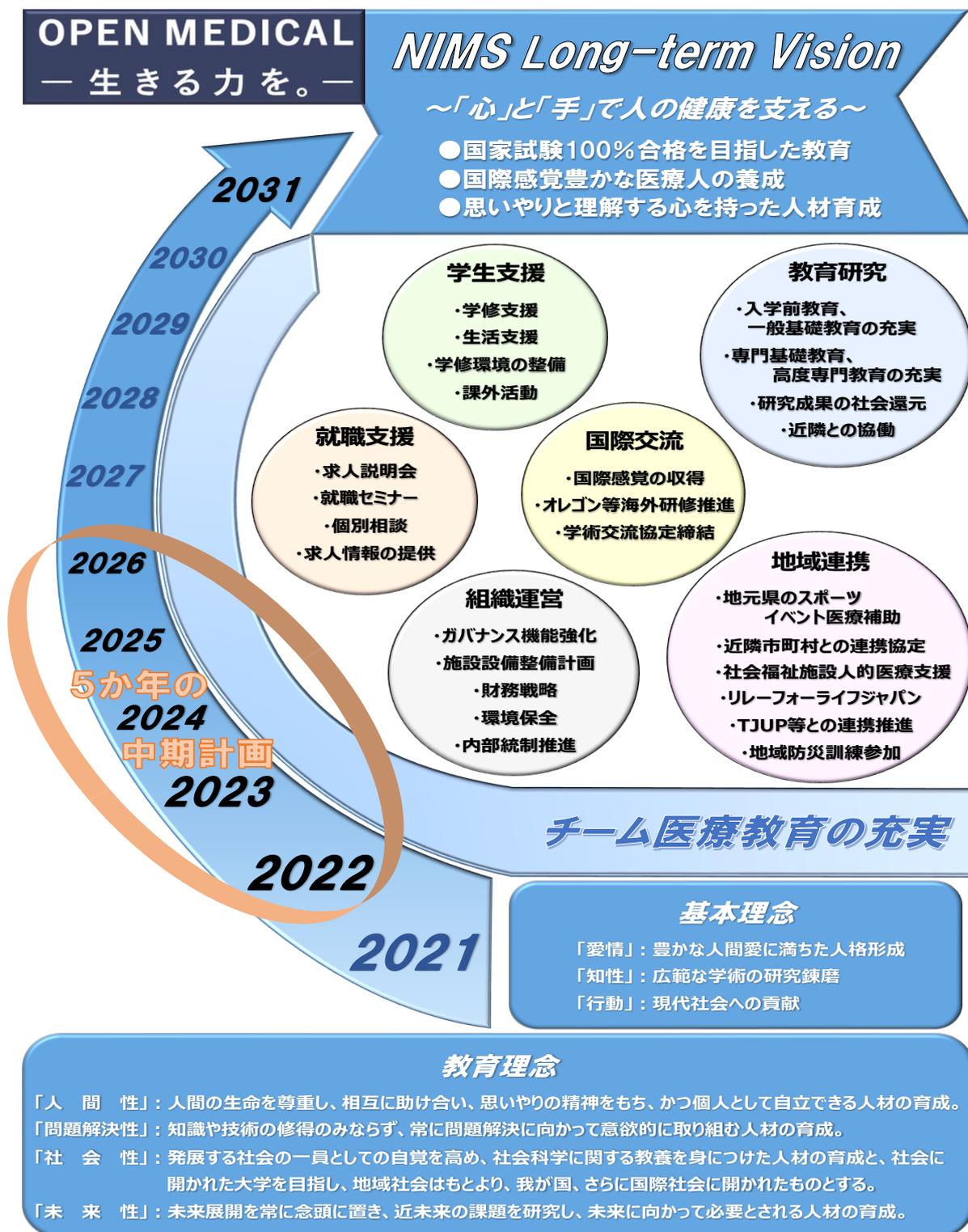
今年度は、診療放射線学科67名、リハビリテーション学科理学療法学専攻57名、作業療法学専攻28名、看護学科76名、臨床工学科34名が卒業し、合計262名が巣立っていった。



12 中期計画 “NIMS 2022 ”について（進捗状況）

1. 2031年まで10年間の城西医療学園の “10年後のあるべき姿” 長期ビジョン(NIMS Long-term VISION)を策定
2. 学園グランドデザインおよび大学の中期取り組みテーマの策定

近日中、公開予定



4. 財務の概要 財務データの経年比較

1. 決算の概要

1) 貸借対照表関係

(1) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位：千円)

科目	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
資産の部						
固定資産		7,236,080	8,085,947	8,059,448	8,006,877	8,331,920
流動資産		2,074,994	1,796,666	2,289,399	2,410,127	1,959,172
資産の部合計		9,311,074	9,882,613	10,348,847	10,417,004	10,291,092
負債及び純資産の部						
固定負債		270,418	257,930	308,878	298,140	340,786
流動負債		497,379	595,062	570,355	662,221	289,114
負債の部合計		767,797	852,992	879,233	960,361	629,900
基本金		8,869,077	8,971,045	9,135,743	9,365,065	10,104,857
繰越収支差額		△ 325,800	58,576	333,871	91,578	△ 443,665
純資産の部合計		8,543,277	9,029,621	9,469,614	9,456,643	9,661,192
負債及び純資産の部合計		9,311,074	9,882,613	10,348,847	10,417,004	10,291,092

(2) 財務比率の経年比較

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
運用資産余裕比率 (運用資産-外部負債/経常支出)	214.16%	236.53%	256.66%	149.61%	153.39%
流動比率 (流動資産/流動負債)	417.19%	301.93%	401.40%	363.95%	677.65%
総負債比率 (総負債/総資産)	8.25%	8.63%	8.50%	9.22%	6.12%
前受金保有率 (現金預金/前受金)	569.66%	436.50%	566.36%	1,631.39%	1,353.87%
基本金比率 (基本金/基本金要組入額)	99.95%	99.98%	99.70%	96.86%	100.00%
積立率 (運用資産/要積立額)	99.05%	110.71%	115.51%	116.04%	98.65%

資産の部の合計は、前年度末より126百万円減の10,291百万円となった。

内訳は、有形固定資産が213百万円減の6,466百万円、特定資産が343百万円増の641百万円、

流動資産が451百万円減の1,959百万円である。

有形固定資産の減少は、建物や教育研究用機器備品の減価償却費が増加が固定資産の取得を上回ったのが主な要因である。特定資産の増加は、第2号基本金の積み立てが主な要因である。

負債の部の合計は、330百万円減の630百万円となった。

内訳は、固定負債が43百万円増の341百万円、流動負債が373百万円減の289百万円である。

また、基本金は10,105百万円、繰越収支差額は△444百万円となり、純資産の部の合計は、前年から205百万円増加の9,661百万円となった。

2) 資金収支計算書関係

(1) 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科 目	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収 入 の 部						
学生生徒等納付金収入		2,256,425	2,191,883	2,230,039	2,216,176	2,352,342
手数料収入		36,464	37,655	38,700	37,422	35,639
寄付金収入		0	0	0	12,000	0
補助金収入		106,867	114,472	114,613	158,328	211,954
資産売却収入		11	230	0	0	0
付随事業・収益事業収入		600	1,600	700	200	1,500
受取利息・配当金収入		1,091	3,379	10,559	10,981	9,715
雑収入		9,676	20,952	17,750	24,202	23,028
前受金収入		361,800	406,200	400,500	145,500	142,500
その他の収入		464,396	494,990	474,510	2,082,044	561,598
資金収入調整勘定		△ 405,828	△ 377,488	△ 420,103	△ 425,670	△ 162,726
前年度繰越支払資金		2,477,123	2,061,017	1,773,052	2,268,252	2,373,670
収入の部合計		5,308,625	4,954,890	4,640,320	6,529,435	5,549,220

(単位：千円)

科 目	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
支 出 の 部						
人件費支出		1,039,816	1,136,918	1,169,638	1,281,238	1,340,594
教育研究経費支出		365,094	394,169	364,215	480,532	517,369
管理経費支出		100,804	114,796	133,992	167,526	165,838
施設関係支出		1,024,018	5,149	64,623	1,607,384	47,584
設備関係支出		70,338	57,638	61,505	454,507	97,994
資産運用支出		75,636	1,067,667	100,948	0	542,646
その他の支出		605,957	485,340	545,824	589,924	957,703
資金支出調整勘定		△ 34,055	△ 79,839	△ 68,677	△ 425,346	△ 49,779
翌年度繰越支払資金		2,061,017	1,773,052	2,268,252	2,373,670	1,929,271
支出の部合計		5,308,625	4,954,890	4,640,320	6,529,435	5,549,220

令和3年度は、臨床検査学科開設1年目となり、92名の学生が入学した。それに伴い学生納付金収入の増加、新規教員採用等による人件費の増加、教育研究経費の増加等が発生した。

資金収支における収入の部では、学生生徒等納付金収入が主になりますが、入金総額は、3,175百万円となり、前年度繰越資金2,374百万円を含めた収入合計は5,549百万円となった。

支出の部では、施設関係支出47百万円、設備関係支出98百万円、資産運用支出543百万円を含め支出金額総額で3,620百万円となり、翌年度への繰越支払資金が1,929百万円となった。

(2) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科 目	年 度				
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	2,410,032	2,366,562	2,401,802	2,437,329	2,624,463
教育活動資金支出計	1,505,714	1,645,884	1,667,845	1,929,296	2,023,801
差引	904,318	720,678	733,957	508,033	600,662
調整勘定等	△ 57,245	78,723	△ 12,063	△ 196,715	△ 68,877
教育活動資金収支差額	847,073	799,401	721,894	311,318	531,785
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	11	230	0	1,561,000	0
施設整備等活動資金支出計	1,144,355	112,787	176,128	2,061,891	445,578
差引	△ 1,144,344	△ 112,557	△ 176,128	△ 500,891	△ 445,578
調整勘定等	4,018	1,469	0	281,949	△ 303,891
施設整備等活動資金収支差額	△ 1,140,326	△ 111,088	△ 176,128	△ 218,942	△ 749,469
小計（教育活動資金収支差額+ 施設整備等活動資金収支差額）	△ 293,253	688,313	545,766	92,376	△ 217,684
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	449,186	492,835	467,891	531,120	543,801
その他の活動資金支出計	572,039	1,469,113	518,457	518,078	770,516
差引	△ 122,853	△ 976,278	△ 50,566	13,042	△ 226,715
調整勘定等	0	0	0	0	0
その他の活動資金収支差額	△ 122,853	△ 976,278	△ 50,566	13,042	△ 226,715
支払資金の増減額 （小計+その他の活動資金収支差額）	△ 416,106	△ 287,965	495,200	105,418	△ 444,399
前年度繰越支払資金	2,477,123	2,061,017	1,773,052	2,268,252	2,373,670
翌年度繰越支払資金	2,061,017	1,773,052	2,268,252	2,373,670	1,929,271

(3) 財務比率の経年比較

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
教育活動資金収支差額比率 （教育活動資金収支差額/教育活動資金収入）	35.15%	33.78%	30.06%	12.77%	20.26%

3) 事業活動収支計算書関係

(1) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科 目		年 度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金		2,256,425	2,191,883	2,230,039	2,216,176	2,352,342
		手数料		36,464	37,655	38,700	37,423	35,639
		寄付金		0	0	0	1,000	0
		経常費等補助金		106,867	114,472	114,613	158,328	211,954
		付随事業収入		600	1,600	700	200	1,500
		雑収入		9,676	20,952	17,751	24,202	23,028
		教育活動収入計		2,410,032	2,366,562	2,401,803	2,437,329	2,624,463
	支事業の活動	人件費		1,065,399	1,124,431	1,220,586	1,270,500	1,383,240
		教育研究経費		572,586	631,499	603,412	723,074	865,199
		管理経費		113,985	127,897	148,371	178,708	181,189
教育活動支出計			1,751,970	1,883,827	1,972,369	2,172,282	2,429,628	
教育活動収支差額			658,062	482,735	429,434	265,047	194,835	
教育活動外収支	収事業の活動	受取利息・配当金		1,091	3,379	10,559	10,981	9,715
		その他の教育活動外収入		0	0	0	0	0
		教育活動外収入計		1,091	3,379	10,559	10,981	9,715
	支事業の活動	借入金等利息		0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出		0	0	0	0	0
		教育活動外支出計		0	0	0	0	0
教育活動外収支差額			1,091	3,379	10,559	10,981	9,715	
経常収支差額			659,153	486,114	439,993	276,028	204,550	
特別収支	収事業の活動	資産売却差額		11	230	0	0	0
		その他の特別収入		0	0	0	11,000	0
		特別収入計		11	230	0	11,000	0
	支事業の活動	資産処分差額等		0	0	0	300,000	0
		その他の特別支出		0	0	0	0	0
特別収支差額			11	230	0	△ 289,000	0	
基本金組入前当年度収支差額			659,164	486,344	439,993	△ 12,972	204,550	
基本金組入額合計			△ 1,136,478	△ 101,968	△ 164,698	△ 229,321	△ 739,792	
当年度収支差額			△ 477,314	384,376	275,295	△ 242,293	△ 535,242	
前年度繰越収支差額			151,514	△ 325,800	58,576	333,871	91,578	
翌年度繰越収支差額			△ 325,800	58,576	333,871	91,578	△ 443,664	
(参考)								
事業活動収入計			2,411,134	2,370,171	2,412,362	2,459,310	2,634,178	
事業活動支出計			1,751,970	1,883,827	1,972,369	2,472,282	2,429,628	

(2) 財務比率の経年比較

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人件費比率 (人件費/経常収入)	44.19%	47.45%	50.60%	51.89%	52.51%
教育研究経費比率 (教育研究経費/経常収入)	23.75%	26.65%	25.01%	29.53%	32.85%
管理経費比率 (管理経費/経常収入)	4.73%	5.40%	6.15%	7.30%	6.88%
事業活動収支差額比率 (基本金組入前当年度収支差額/事業活動収入)	27.34%	20.52%	18.24%	△ 0.5%	7.77%
学生生徒等納付金比率 (学生生徒等納付金/経常収入)	93.58%	92.49%	92.44%	90.52%	89.30%
経常収支差額比率 (経常収支差額/経常収入)	27.34%	20.51%	18.24%	11.27%	7.77%

2. その他

1) 有価証券の状況

(単位：千円)

種類	貸借対照表計上額	時価	差額
債券	1,200,000	1,120,580	△ 79,420
合計	1,200,000	1,120,580	△ 79,420
時価のない有価証券	1,000	—	—
有価証券合計	1,201,000	—	—

2) 借入金の状況

該当なし

3) 学校債の状況

該当なし

4) 寄付金の状況

該当なし

5) 補助金の状況

(単位：千円)

種別等	事業名等	金額
国庫補助金	私立大学等経常費補助金	110,297
国庫補助金	高等教育修学支援事業補助金 (※1)	62,627
いわき市	いわき市 寄附講座 補助金	37,980
埼玉県	コロナウイルス感染症緊急包括支援金	1,050
合計		211,954

※1 補助金と同額を奨学費として対象学生の授業料等との相殺処理を実施している。

6) 収益事業の状況

該当なし

7) 関連当事者との取引の状況

(1) 関連当事者

(単位：円)

役員・法人 等の名称	資本金 (千円)	事業内容	取引内容	取引金額	期末残高
株式会社泰同 (注1)	23,000	不動産賃貸業、ESCO事業	ESCOサービス料 の支払い	5,723,520	-

(注1) 理事佐藤 知之及びその近親者が議決権の100%を直接保有している。

(2) 出資会社

(単位：円)

会社の名称	資本金 (千円)	出資割合	事業内容	取引金額
㈱日本医療科学	1,000	100%	損害保険業務他	保険料支払 8,287,660 仲介手数料支払 1,689,399 雑収入 4,715,875

8) 学校法人間財務取引

該当なし

3. 経営状況の分析等

日本私立学校振興・共済事業団が分析する経営判断指標により、学校法人の財務状況を経営状態が良好であると考えられる順から、①正常状態、②経営困難状態、③自力再生が極めて困難な状態の3つに分類している。

本法人は、①正常状態に属し、教育活動資金収支差額が3か年のうち2か年以上黒字であり、かつ、外部負債があっても10年以上資金繰りに問題が生ずる可能性がなく、更に経常収入から経常支出を控除した経常収支差額も黒字である状態であります。

しかしながら、昨年度までのように黒字幅（経常収支差額比率）が10%を超える水準で無くなり、運用資産が、本来保有すべき減価償却額累計額、退職給与引当金、第2号基本金の合計の数字よりも少ない状態（積立率が100%以上なし）である為、正常状態と表示している3区分ある中の、上から3つ目のA3に該当することになったが、将来はA2・A1を目指したい。

監査報告書

監査報告書

令和 4年 5月 23日

学校法人 城西医療学園

理事会 御中

評議員会 御中

監事

中林正則



監事

鈴木文雄



私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人城西医療学園寄附行為第15条の規定に基づき、同学園の令和3年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)の業務及び財産の状況並びに理事の業務執行の状況について監査しました。

私たちは監査にあたり、理事会及び評議員会等に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類について検討するなど、必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、学校法人城西医療学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表(固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む)並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、その収支及び財産の状況を正しく示しており、業務若しくは財産又は理事の業務執行に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。

以上